

今年は市内7会場!

三豊市議会報告会

皆さまの地域に伺い、議会で決まったこととお知らせします。
ご意見をお聴かせください。

高瀬・豊中では
オンライン(Zoom)を初同時開催

日時	開催場所
5月19日(火) 19:00~	仁尾 仁尾町文化会館 多目的ホール
	山本 山本庁舎2階 大会議室
5月20日(水) 19:00~	三野 三野町保健センター 集団指導室
	豊中 市民交流センター 多目的ホール オンライン
5月21日(木) 19:00~	財田 財田町公民館 ホール
	詫間 市民センター詫間 コミュニティールーム
5月23日(土) 15:00~	高瀬 みとよ未来創造館 3階大ホール オンライン

詳細はこちらから。



本紙11ページにも
詳細を掲載しています。



みとよし
三豊市

議会だより

5
2026年
月号
No.64

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

3月定例会

- ②税金の使いみちが決まりました
- ④定例会概要
- ⑤審議結果
- ⑥議員研修会・防災訓練
- ⑦代表質問
- ⑧一般質問
- ⑨委員会審査
- ⑩各委員会の閉会中継続調査
- ⑪スポーツ少年団

みとよし
三豊市
議会だより
2026年5月号

令和8年5月1日発行

みとよなぎなたスポーツ少年団

日本古来の伝統文化であるなぎなたは、生涯武道として、礼儀を重んじ相手を思いやる心、左右対称の技により正しい姿勢判断力、精神力が養われます。大きな声を出してお互いが楽しく稽古をしています。

会場にもお越しください。心と体を鍛えましょう。お待ちしております。

活動場所：高瀬B&G海洋センター
活動日時：金曜日 19時30分~21時
土曜日 13時30分~15時
問合せ先：090-7582-2265(香川)



詫間ビーバース(野球)

私たちは詫間町を中心に活動している野球チームです。現在、詫間町・高瀬町の男子10名女子2名の計12名で元気いっぱい活動しています。「楽しむ事、全力でプレーする事、仲間を大切にすること」をモットーに日々練習に励んでいます。

見学、体験はいつでも大歓迎です! お気軽にお越しください。

活動場所：詫間町市民運動場野球場
活動日時：火曜日 18時30分~20時
金曜日 18時30分~20時
土曜日 18時~20時
日曜日 13時~17時
(時間に変更になる場合があります)
問合せ先：090-1171-5528(板倉)
Instagram : takuma_beevers



スポーツ少年団紹介



視察に来ていただきました

- 【夜間中学について】**
 - 1月20日 岩手県議会 文教委員会
 - 1月23日 大阪府東大阪市議会
会派(大阪維新の会東大阪市議団)
- 【バイオマス資源化センターについて】**
 - 1月22日 千葉県茂原市議会
会派(緑風会・志友会)
 - 2月18日 広島県安芸郡町議会
議長連絡協議会
(各町議会から議長が来られました)
- 【温浴施設の民間委託可能性について】**
 - 1月28日 愛知県犬山市議会 会派(創犬会)

編集後記

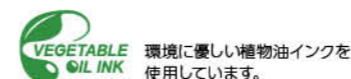
桜が三豊の街を彩る中、新たな布陣で議会がスタートしました。
市民の皆さまの負託を胸に、改めて身の引き締まる思いです。財政問題など、山積する課題に特効薬はありません。しかし、春の陽光を受けて芽吹く若葉のごとく、新風を力に変えて一歩ずつ着実に歩みを進めてまいります。その一つ一つを、広報広聴常任委員会として、これからも丁寧にお届けしていきます。
(瀧本)



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧いただけます

- 広報広聴常任委員会
- 委員長 田中 達也
 - 副委員長 瀧本 哲史
 - 委員 水本 真奈美、井出 喜久美、青井 和樹、香川 貴志、真鍋 国明、太平 明

*QRコードは簡丹ソウウェブの登録商標です



環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集
三豊市議会・広報広聴常任委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp

防災一般費



【事業費 6,265万7千円】
大規模災害に備え、非常用物資の計画備蓄を行うとともに、自主防災組織を育成強化し、地域防災力の向上と減災を図る。

体育施設管理事業



【事業費 5,064万円】
三野町体育センター天井等改修工事及び高瀬B&G海洋センター艇庫改修工事実施設計を行う。

小学校総務管理事業



【事業費 1億1,484万3千円】
比地小学校バリアフリー改修工事及び吉津小学校屋上防水改修工事等を行う。

地域コミュニティ支援事業



【事業費 488万2千円】
地域住民が主体となり地域課題の解決やコミュニティの活性化に取り組む団体に対し、活動に要する事業費を交付する。

功労者表彰事業
(市制施行20周年記念事業)



【事業費 916万4千円】
市制施行20周年の節目に、市政発展に寄与した人への功労表彰及び記念事業を実施する。

乳児等通所支援事業



【事業費 327万3千円】
保育所等に通っていない乳幼児を対象に、保護者の就労要件に関わらず、一定時間保育施設を利用できる機会を提供する。

地球温暖化対策事業



【事業費 3,306万3千円】
住宅用太陽光発電システム、蓄電システム、V2H[※]機器設置、次世代自動車の購入及びZEH[※]建築等の補助を行う。

地域スポーツ活性化事業
(放課後改革推進)



【事業費 2,402万1千円】
一般社団法人三豊市文化・スポーツ振興事業団に指導者人材バンク事業や地域スポーツクラブ事業を委託する。

地域生活支援事業



【事業費 8,295万8千円】
障害者が地域で生活するための支援として、各種サービスを提供する。基幹相談支援センターを運用して支援体制を強化し、個々に応じた福祉サービスの提供につなげる。

母子保健事業



【事業費 5,836万2千円】
母子保健法に基づき、妊産婦健康診査、健康教育、妊産婦・乳幼児の訪問、相談等を実施する。また、5歳児健康診査をモデル的に実施していく。

市の予算は議会でしっかりチェック!

令和8年度の税金の
使いみちが決まりました

3月定例会では市長から提出された令和8年度予算案について、予算特別委員会を設置し、市長や執行部に質疑を行い審査を行いました。

本市の財政状況を令和6年度決算で見ると、決算額は約380億6,600万円となっており、歳出規模の拡大に対して十分な歳入確保ができず、財源不足を基金の取り崩しで補っている状況が経常化しています。また、近年は財政調整基金以外の基金も取り崩しており、将来にわたって持続可能な財政運営を行うためには、これまで以上の歳入確保、歳出削減、そして業務の見直しに積極的に取り組む必要があります。

今回の予算編成は、義務的経費や施設の維持管理などの経常経費及び継続的に実施している事業で、当初予算に計上しなければ事業の実施に支障のある経費のみを計上する「骨格予算」としてしています。骨格予算には人件費、扶助費、公債費等を計上し、新規事業や事業の拡大に係る経費等は、その後の補正予算で措置するとの説明がありました。

今回の主な新規事業と重点施策を紹介します。また、委員会での質疑については19ページに掲載しています。

令和8年度
予算

一般会計	369億5,000万円
特別会計	168億4,300万円
企業会計	32億9,321万4千円

可原
決案

令和8年度 主要新規事業・重点施策

道路橋りょう国庫補助事業



【事業費 3億7,770万円】
国庫補助事業を活用して市道各路線の改良整備を行う。

たからだの里管理事業



【事業費 3,017万5千円】
たからだの里の物産館風除室整備工事及び駐車場舗装工事等を行う。

※V2H…電気自動車に貯めた電力を自宅に供給するシステム
※ZEH…住宅で使用する一次エネルギーの年間消費量がおおむねゼロの住宅



令和8年 第1回 定例会の概要

【会期 3月2日～3月27日(26日間)】

今定例会では
次のことが決まりました

- 令和7年度補正予算 11件可決
 - 令和8年度予算 11件可決
 - 条例に関する議案 13件可決
 - その他の市長提出議案 3件可決
 - 人事案件 8件同意
 - 議員提出議案 2件可決
 - 選挙 1件当選
 - 閉会中継続調査申し出 1件可決
 - 議員派遣 1件可決
- 主な議案をご紹介します。

山本町財田大野財産区管理委員の選任

- 大平 浩三
- 内田 実
- 入江 秀行
- 平山 澄雄
- 後等 勲
- 大平 浩
- 金田 直樹
- 大西 一平
- 横山 幸夫
- 西川 一司
- 近藤 正昭
- 宇川 末明
- 藤原 章宏
- 森 和之

山本町神田財産区管理委員の選任

- 藤川 豊明(高瀬町)
- 岡根 則子(三野町)
- 十川 精演(豊中町)
- 中野 秀章(財田町)
- 選挙管理委員会委員補充員(補充順に掲載)
- 續木 淳(詫間町)
- 吉田 安宏(仁尾町)
- 山下 昌茂(山本町)
- 森 真由美(三野町)

人権擁護委員候補者の推薦

- 十川 剛(豊中町)
- 本田 恵子(詫間町)

選挙管理委員会委員

- 藤川 豊明(高瀬町)
- 岡根 則子(三野町)
- 十川 精演(豊中町)
- 中野 秀章(財田町)
- 選挙管理委員会委員補充員(補充順に掲載)
- 續木 淳(詫間町)
- 吉田 安宏(仁尾町)
- 山下 昌茂(山本町)
- 森 真由美(三野町)

令和8年第1回(3月)定例会

■議場にいた全員が賛成した議案

議案名等	議決日
三豊市議会委員会条例の一部改正について	(3月2日議決)
令和7年度三豊市一般会計補正予算(第8号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第4号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市介護サービス事業特別会計補正予算(第4号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第3号)	(3月10日議決)
令和8年度三豊市一般会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市国民健康保険事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市国民健康保険診療所事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市後期高齢者医療事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市介護保険事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市介護サービス事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市浄化槽整備推進事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市港湾整備事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市国道用地先行取得事業特別会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市病院事業会計予算	(3月27日議決)
令和8年度三豊市集落排水事業会計予算	(3月27日議決)
三豊市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	(3月27日議決)
三豊市乳児等通園支援事業に関する条例の制定について	(3月27日議決)
三豊市情報セキュリティ条例の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市防災センター設置条例の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市中小企業・小規模企業振興基本条例の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市出張所設置条例の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市児童館条例の一部改正について	(3月27日議決)

議案名等	議決日
令和7年度三豊市港湾整備事業特別会計補正予算(第3号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市国道用地先行取得事業特別会計補正予算(第3号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市病院事業会計補正予算(第5号)	(3月10日議決)
令和7年度三豊市集落排水事業会計補正予算(第2号)	(3月10日議決)
三豊市職員の給与に関する条例及び三豊市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	(3月10日議決)
議員派遣について	(3月10日議決)
三豊市火入れに関する条例の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市公民館条例等の一部改正について	(3月27日議決)
三豊市中小企業小口融資条例の廃止について	(3月27日議決)
三豊市高瀬町朝日山資料館条例の廃止について	(3月27日議決)
三豊市過疎地域持続的発展計画の策定について	(3月27日議決)
総合整備計画の策定について	(3月27日議決)
財産の取得について	(3月27日議決)
三豊市公平委員会委員の選任について	(3月27日議決)
三豊市監査委員の選任について	(3月27日議決)
山本町辻財産区管理委員の選任について	(3月27日議決)
山本町河内財産区管理委員の選任について	(3月27日議決)
山本町財田大野財産区管理委員の選任について	(3月27日議決)
山本町神田財産区管理委員の選任について	(3月27日議決)
人権擁護委員候補者の推薦について	(3月27日議決)
特別委員会の設置について	(3月27日議決)
三豊市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	(3月27日議決)
閉会中継続調査申し出について	(3月27日議決)

※3月2日 城中利文議員欠席

補正 令和7年度3月補正予算 **可決**

- 一般会計 16億3,944万7千円減↓
468億1,561万6千円
- 国民健康保険事業特別会計 2億2,383万5千円減↓
68億6,823万8千円
- 国民健康保険診療所事業特別会計 101万2千円増↑
1億5,384万8千円
- 後期高齢者医療事業特別会計 5,684万9千円増↑
14億5,977万5千円
- 介護保険事業特別会計 3,068万5千円増↑
79億3,040万4千円
- 介護サービス事業特別会計 762万3千円減↓
8,400万円
- 浄化槽整備推進事業特別会計 36万円減↓
2億3,777万9千円
- 港湾整備事業特別会計 99万6千円増↑
2,178万4千円
- 国道用地先行取得事業特別会計 7,160万5千円減↓
4億7,885万1千円
- 病院事業会計 1,542万4千円減↓
26億9,190万1千円
- 集落排水事業会計 66万9千円減↓
2億2,097万3千円

一般会計補正予算(第8号)

- 病院会計繰出金等 (みとよ市民病院の運営にかかる経費)
物価高騰、人件費増加等の影響により経営が厳しく運転資金が不足するため貸付金として、1億5,000万円を増額補正。
- 清掃費 (塵芥処理費業務委託料)
急激な物価高騰に伴うごみ処理委託料の精算金等として、3,924万円を増額補正。

議案 Pick Up

議員提出議案

可決

○三豊市議会委員会条例の一部改正について
新たに、広報広聴常任委員会を設置するために条例の一部改正を行った。

○特別委員会の設置について
〔公共施設再配置特別委員会〕
所管事項 公共施設の統廃合、処分、長寿命化についての調査研究
期間 令和8年3月27日から調査終了まで、閉会中も調査することができる。

委員長 湯川 利文
副委員長 市川 洋介

委員 城中 文彦、伊藤 幸洋、丸藤 研二、高木 修武、近藤 哲史、瀧本 文吉、込山 洋介、市川 新

人事案件(敬称略)

同意

三豊市公平委員会委員の選任
田岡 直博(高瀬町)

三豊市監査委員の選任
浮草 登盛(財田町)

山本町辻財産区管理委員の選任
金山 信幸、伊藤 隆、橋田 和幸、片桐 稔男、植野 文也、次田 芳広、大池 正孝

山本町河内財産区管理委員の選任
山本 周、小川 吉則、白川 智樹、久保田 電次、西山 孝秀、川崎 光洋、山本 明

議員研修会

3月27日

『自治体議会とコンプライアンス』



講師/香川大学名誉教授 三野 靖 先生

調された。首長と議会が相互に抑制と均衡を保ち、健全な緊張関係を構築することで、政策の質を高め、市民福祉の向上につなげていく必要がある。また、コンプライアンスについては、法令遵守に加え、社会情勢や市民意識の変化を的確に捉え、市民の信頼に応える行動を積み重ねる姿勢が重要である。議員一人一人が公選職としての自覚と責任を持ち、市民目線で判断し、言動に責任を持つことの重要性を再確認した。さらに、ハラスメント防止についても重要なテーマとして取り上げられ、議員間や職員との関係において、無意識の言動が相手に不快感や圧力を与える可能性があることを自覚し、人格と尊厳を尊重する姿勢の徹底が求められている。議会の信頼を損なう重大な問題として、未然防止と適切な対応体制の整備が必要だ。今後、開かれた議会運営と市民参加の推進、情報発信の充実にも努め、信頼される議会づくりに取り組んでいく。

議会は、市長とともに市民の負託を受けた代表機関であり、二元代表制の一翼を担う合議制の役割として、本研修では、議会の役割として、行政の追認にとどまらず、多様な立場や意見を踏まえた建設的な議論を尽くし、合意形成を図る重要性が強調された。



防災訓練講話

3月25日

『過去の災害に学ぶ、防災対策』



講師/三豊市防災士会副会長 黒川 太一 先生

命を守るには、災害が発生してから考えるのではなく、事前に対策を取っておくことが最も有効である。そのため、陸の孤島化への対策として防災無線の配備や、トイレ・水の確保、いち早く災害ボランティアを受け入れる受援力の強化を急ぐべきだと提言いただいた。また、住民自らが運営を担う「自主防災組織」の確立と、事前の備蓄・訓練が不可欠であるとのこと。自治会館等に住民が各自必要なものを備蓄し、定期的に集まって点検をすれば、自然と防災意識も高まるだろう。「災害は怖いが防災は楽しい」をモットーに、過去の犠牲を教訓として三豊市の想定外を減らし、地域全体で命を守る絆を深めるよう強く呼びかける必要性を感じた。

能登半島地震や東日本大震災の被災地活動を通じて得られた「災害を自分事と捉える」重要性についてご教示いただいた。能登では、地震直後で通報がつかず救助が大幅に遅れた事例や、消火用水の不足で焼失した命、さらに避難所での性被害



代表質問

3月10日・11日の2日間に各会派を代表して、7人の議員が代表質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。QRコードを読み取ると各議員の質問の様子が視聴できます。



七宝の風
瀧本 哲史 議員
城中 利文 議員
Includes QR codes for each member.

市長の選挙公約

子育て環境の充実の進捗状況について問う。

平成31年度に子育て包括支援センター「なないろ」を設置し、専門職の配置等ワンストップで支援できる体制を整えた。子育て世代の負担軽減として、保育料の減額、幼稚園保育料の無償化を開始。保育受け入れ枠の拡大等を行い、待機児童ゼロを継続中である。

二期目の公約「三本柱」の健康についての進捗状況を問う。

令和4年にみとよ市民病院を開院し、地域に密着した病院として住民の健康、福祉に貢献していく。令和7年よりシニアドックを開始した。

市制施行20周年記念行事の規模、予算について問う。

6月27日に、市政功労表彰を行い、翌日、本市出身のピアニスト稲沢朋華さんを迎え未来に向けて希望と活力を共有できる場

として音楽会を開催する。予算は約900万円を計上。

現在の三豊市について

極めて厳しい財政状況に對しての解決策、取り組み方について問う。

経常収支比率が98.2%と高い水準にある。令和11年、12年には公債費の償還が年間40億円を超える見込みとなるため、慎重な財政運営を行っていく。人口減少等の対策として働き手を確保し、地域産業の振興で企業価値を高めていただき、持続可能な財政基盤を確立していく。経費削減については、市民サービスを低下させることなく、人件費を含む経常経費の削減、適正化を図り、優先順位を明確にした予算編成を行う。継続と、進歩をスローガンに、次世代に過度な負担を残さないために困難な現状に正面から向き合い、先送りすることなく一つ一つ着実に改革を進めていく。

防災について

地域防災計画及び総合防災マップを改訂とあるが、中身に

南海トラフ地震に備え、地域防災計画を修正し対応を強化する。新被害想定や防災気象情報

を反映した「総合防災マップ」も改訂・全戸配布し、市民の迅速な避難と意識向上を図ることで、防災・減災を着実に進めていく。

みとよ市民病院について

みとよ市民病院の経営状況の改善に向けた、具体策は。

経営改善のため、医師確保と病床利用率向上による収益増を目指していく。大学等の医局連携や紹介事業、地域との連携強化を推進。全職員で病床稼働の意識を共有し、一体となって自立的な経営維持と地域医療の充実に努めていく。

新設豊中小学校や学校跡地について

現在の新設豊中小学校の整備状況や豊中地区の廃校後の跡地問題について。

また、子ども・子育て支援センターの廃校活用についても聞く。

新設豊中小学校の来月開校に向け、試験登校等の安全対策を実施する。開校後も危険箇所の整備等を継続し児童の安全を確保する。閉校後の跡地は、行政利用の有無を確認した上で、規定に基づき売却等の処分を適切に進める方針である。

廃校活用については、子育て支援センターの整備を検討していく。災害リスクや経済性、利便性など

を多角的に検証し、適切に判断していく。



▲4月に開校した豊中小学校

今年度の施政方針にある「革新」について

市長の今年の施政方針は「革新」をキーワードに述べさせていただきましたとあるが、現状を変えていくことは、賛同者や反対者をより明確にする行為だと考える。市長の覚悟を聞く。

私が施政方針に掲げる「革新」は、既存の仕組みを時代に合わせ適切に変えることである。10年、20年後を見据え、三豊市がどうあるべきかを検討し、行政を動かす覚悟を持って変革に挑む。市民生活を守るため、停滞せず適切な変更を断行していく。

その他の質問

- 公共施設の維持管理について
○地域の人事部について
○脱炭素について
○AIとDXについて

原稿は質問者本人が書いています

清風会



高木 修
議員



認知症対策について

三豊市において、認知症基本法という、認知症施策推進基本計画は策定されているか。

令和8年度に策定する、三豊市高齢者福祉計画等において、法の基本理念を反映させる。

三豊市において、認知症対策諸施策が実施されているが、今後の展開は。

認知症サポーター養成、認知症初期集中支援事業、認知症地域支援推進員活動、もの忘れ相談会・オレンジカフェ等の取り組みを充実させる。

広報活動に課題はないか。

広報みとよ、ホームページ、LINE配信を行うとともに、金融機関・医療機関に、チラシ・冊子をおいてもらっている。

旧高瀬町公民館跡地売却問題

旧高瀬町公民館跡地の、唐突な売却入札公告や、現地の売地看板を見て、多数の市民が驚いている。

本市の現状を考えると、子育てが安全安心にできる環境と、同時に高齢者や多世代が日常的に交流できる場づくりが必須と思われる。

この土地、活用策が想定されるのに、簡単に売却していいのか。

子育て支援施設については、必要な面積確保のため、本庁舎周辺用地取得に動いたが、不調に終わり、この場所での整備を断念。他に活用見込みがないことから、売却を決めた。

今回の旧高瀬町公民館跡地売却問題だが、子育て支援施設等に関する昨年12月の方針転換、そこから一か月も間を置かず、令和8年1月初旬に入札公告。

これらは、地方自治法に規定される裁量権の逸脱にならないか。

公有財産管理審査会で機関決定し、市議会公共施設再配置特別委員会の承認を得ているので、理解して欲しい。



▲旧高瀬町公民館跡地

三豊新政会



丸戸研二
議員



人口減少への取り組み

地域住民、民間事業者、行政がどう連携し、それぞれの役割を担わせようとしているのか。

行政が制度設計などの下支えを担い、地域住民が現場の困りごとに対応した活動を行い、民間事業者が専門的な技術や知恵を注ぐという自立的な仕組みづくりを目指す。

地域コミュニティへの支援を強化するために組織体制の見直しを検討するとは、具体的にどのようなことなのか。

集落支援員を旧町に2名配置し、地域の課題を抽出し、地域としての活動や必要な予算を明らかにするなど伴走支援を行う。

詫間、仁尾、財田が過疎地域の指定を受けているが、これまでの5年間の対策でどのような成果が得られたのか。

結果として、過疎指定の条件となる人口要件や財政要件の改善は得られなかった。

過疎地域には何が必要なのかという検討を踏まえ、過疎地域に講ずべき施策、事業を創出して取り組むべきではないか。

市職員が地域に出向き、市民との会話、課題の解決など、地域独自の資源を若者の起業や定着に繋げる新たな産業の創出など、地域の将来像をイメージしながら徹底した現場主義で取り組みたい。

持続的財政運営の確立

合併特例債の運用が終わったことから、その他の財源確保に取り組むとのことだが、具体的にどう取り組むのか。

企業立地・誘致の促進、市内企業の支援を行い設備投資や雇用の促進による税収の確保、さらには魅力あるふるさと納税返礼品の確保・創出に努め寄附額の増加を目指す。

三豊市の安定的な財政規模はどの程度か。

当初予算の一般会計規模は369億5千万円で、このうち基金繰入金などの一時的な財源を除いた実質的な歳入規模は、概ね330億円程度であり、これに臨時的収入をプラスした規模が本市の財政規模の目安と見ている。

ふるさと納税の推進に、企画から返礼品の開発、事業者支援、寄附者対応までを一体的に担う地域商社のような組織を創出してはどうか。

地域商社の取り組みは、地域事業者の支援だけでなく、ノウハウや人材確保などを地域に循環させる役割も期待でき、地域経済の活性化につながる可能性があるかと認識している。



▲ふるさと納税の拡大には魅力的な返礼品の開発が必須

公明党



込山文吉
議員



命を守る熱中症対策について

猛暑が災害級となる中、高齢者の見守り体制、学校現場での安全対策、クーリングシエルトの整備状況と今後の具体的な取り組み方針について伺う。

本市では関係機関と連携して対策を推進し、市内では対策連絡会を継続して開催。搬送は増加傾向で高齢者が約6割を占める。民生委員や地域包括支援センターと連携し見守り体制を強化する。

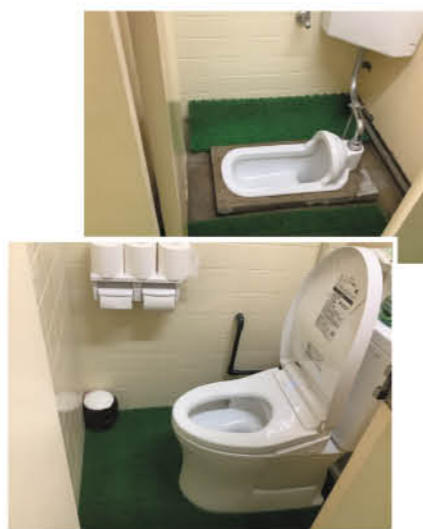
市内小学校の体育館空調は、避難所機能も踏まえ段階的に整備を進める。学校ではWBGITを活用し活動制限や水分補給を徹底。登下校は日傘や冷感用品の活用を指導。クーリングシエルトは公共・民間合わせ35施設を確保。地域差の解消と受入れ能力向上を図り拡充する。

公共施設の維持管理について

公共施設の老朽化が進む中、事後保全から予防保全への転換、点検体制の現状と課題、体育館の床・屋根・外壁の修繕計画、トイレの洋式化・バリアフリー化の進捗と今後の方針を伺う。

現状は目視点検と事後対応が中心で、予防保全には至っていない。固定資産台帳システムで管理しているが専門的判断が課題である。包括管理業務委託の導入を検討し、巡回点検と早期修繕につなげる。体育館等は要望や緊急性に応じ対応しているが個別計画は未整備。

今後は専門的調査を踏まえ計画的修繕体制を構築する。トイレは施設ごとに進捗差があり、全体把握の上、優先順位を定め計画的に洋式化とバリアフリー化を推進する。



▲高瀬B&G海洋センタートイレ
改修前(上)・改修後(下)

教育改革の推進について

部活動の地域展開における指導者確保、財源の持続性、活動拠点整備の課題への対応、また夜間学級における学齢期生徒増加への支援体制について具体的な取り組み方針を伺う。

（一社）放課後共創基金により企業拠出金を活用し持続的財源を確保することを旨とする。保護者負担軽減と活動機会の拡充を図る。登録クラブは35団体だが競技種目は不足し受け皿は十分である。今後も地域と連携し種目の充実と拡充を進める。休日部活動の地域展開に向け体制整備を進める。

夜間学級は多様な学びの場として不登校や外国人の生徒に対応。個別支援や日本語指導を実施するが教員体制は十分でなく、関係機関と連携し指導体制の充実を図る。

原稿は質問者本人が書いています

※(一社)…一般社団法人の略称

国民民主
みとよ



近藤 武
議員



農業振興計画における明確なKPI・達成状況について

問 本市の農業の将来像は「持続可能で魅力ある産業としての農業の実現」であり、その方向性は妥当で評価できる。第2次三豊市農業振興計画で示されているKPIは、新規就農者数や農地集積面積など活動量指標が中心となっている。今後の厳しい財政状況を踏まえれば、施策によって農業所得がどの程度向上するのか、地域経済や税収にどのような波及効果があるのかといった「成果指標」を明確に設定する必要がある。

答 農業振興計画において、各事務事業について「何を」「どれだけ」実施したかを示す指標により進捗管理を行っている。これらの指標は、事業が計画に沿って着実に実行されているかを把握する上で、



▲農地を維持することは三豊市を維持することになる。

一定の意義を有するものと認識している。農業所得がどの程度向上したのか指標を設定することは、施策の効果を検証する上で重要であり、農業振興におけるアウトカム指標としては、認定農業者数や集落営農組織数の増加なども、成果を示す指標の一つと捉えることができるが、農業分野は異常気象や市場価格の変動など影響が大きいことから、成果指標の設定については慎重な検討が必要である。

みとよ市民病院の役割と今後の地域医療体制

問 みとよ市民病院の現在の役割と評価について

答 みとよ市民病院では、坂出市以西の10市町で構成する西部構想区域において、不足している回復期病床に該当する地域包括ケア病床を46床と、慢性期に該当する療養病床を46床有し、回復期と慢性期に特化した役割を担っている。地域医療構想の対象外とされている精神医療にも対応しており、精神病床を30床有している。評価については地域包括ケア病床および療養病床のいずれも令和5年度に公立病院経営強化プランに設定した病床利用率85%を下回っている状況にあり、更なる改善と努力が必要である。今後の入院病床の方向性については、西部構想区域における医療提供状況など、的確に見極めながら、地域のニーズに即した医療の提供について検討を進めていく。

その他の質問

○茶業の需給逼迫を踏まえた中長期的な振興戦略
○農林水産事業団の設立構想と公共性の位置付け

立憲(CDP)



伊藤幸洋
議員



三豊市の財政状況について

問 合併特例債は有利な財源だったとはいえ借入れであり返済が生じる。また平成29年度に102億円あった財政調整基金が40億円になり大変厳しい状況である。このままで大丈夫なのか、また財源についての考えを伺う。

答 当該基金は不測の事態に備え積み立てておく基金であり、一般的に適当とされる標準財政規模の20%である40億円を維持する方針で財政を運営している。取り崩しを毎年行くと、数年後には基金が枯渇するおそれがある。また、今後の財政見通しにおいて、令和11年度及び12年度には公債費が年間40億円を超える見込みであり、財政運営は一層厳しさを増す。財政調整基金の確保に努め、本市独自の財源となるふるさと納税などの取り組みを進め、また歳出抑制に努めるとともに、事務執行についても最適化を進め、持続可能な財政運営に努めていく。

定員管理計画について

問 数年前から「事務事業の見直し」が行われているが、進展はどうか。見直しにより職員の業務量はどうなっているのか、職員の採用人数に影響があるのか市長に見解を問う。

答 事務事業の見直しについては、全916業務について、現状維持または業務見直しの判定を行い、その上で見直しの時期や内容を整理した。市民サービスに影響がある見直しは、各担当部署において、関係する市民団体等と丁寧に協議を進めていく。また、市役所内部で見直しが可能な業務については、業務の効率化と職員の負担軽減につながるよう取り組んでいる。取り組みの進捗により、各年度の業務量には一定の変動が生じるため、当面は退職者数を上限として採用数を決定していく。

みとよ市民病院について

問 みとよ市民病院は苦しい経営状態が続いているが地域医療に欠かせない存在である。市民病院の在り方について見解を問う。

答 仮に民営化を行った場合、不採算医療の縮小や医療のセーフティネット機能の低下といったリスクが懸念されるため、現時点で民営化は検討していない。経営改善の取り組みを進め、国による税収の再配分を活用しながら、自治体として責任を持って運営を継続していく。



▲みとよ市民病院外観

その他の質問

○人口目標について
○窓口開庁時間について
○こども誰でも通園制度について

原稿は質問者本人が書いています

議会報告会

Table with columns for date, time, and venue for the Council Report Meeting. Includes dates from May 19 to May 23 and various locations like 仁尾町文化会館 and 市民センター.

出席議員 仁尾・三野・財田 会場 石井勢三 城中利文 込山文吉 湯口新 近藤武 井出喜久美 丸戸研二 伊藤幸洋 眞鍋範子 篠原一馬 山本・豊中・詫間・高瀬 会場 田中達也 市川洋介 詫間政司 浜口恭行 水本真奈美 瀧本哲史 高木修 青井和樹 香川貴志 大平国明 ※高瀬会場には、石井勢三議長も出席。

報告会の様子は撮影を行い、後日映像を市議会YouTubeにて公開いたします。参加者の顔が映らないよう編集等を行います。あらかじめご了承の上、ご参加ください。オンライン (Zoom) 参加は右のQRからお申込みいただけます。開催日前日までにお申込みください。



Calendar of Council Meetings (議会日程) from January to May, listing various committee meetings and council sessions.

※アウトカム指標…施策や事業の実施によってもたらされた、最終的な成果や効果を測るための指標

※KPI…最終目標(KGI)を達成するための中間目標・指標



浜口恭行 議員



豊かさを取り戻すことであり、あらゆる角度から国や県と連携し、地元漁協と一緒に取組みを強化していきたい。

問 養殖力キが大量死して壊滅的な打撃を受けているが、その後の支援はどのような状況なのか、また漁業者や稚魚放流、アマモの再生などに取組み地元漁業組合への支援策について具体的な内容を市長に聞きたい。

答 私も議員と一緒に現場で確認をし、事業者の皆さんからお話しも聞かせていただいた。その結果、県が新たに補助制度を創設し、市が上乘せる形で支援策がまとまり、今議会に補正予算として提出させていただいている。実質無利子の金融機関からの貸付と、力キ種苗購入支援事業であり、またさまざまな補助金制度を有効に活用できるよう、地元漁協と調整している途中である。水産業支援としては、漁業振興基金を財源として、市内の漁協などが行う事業に対して支援を継続し、昨年度はアマモの再生ほか10件の事業に対して支援をさせていただいた。最も重要なのは、本来の瀬戸内海の



▲市内の2つの漁協が養殖力キ救済の要望書を提出

公共交通の課題について

問 定額制の地域交通サービスが終了し、高齢者から心配の声が上がっている。一般社団法人みとよ交通システム事業団「MILAIRS」は市民のためになっているのか。

答 現在MILAIRSは主たる事業として介護分野における共同送迎事業を行っている。今後はあらゆる分野で移動・交通に困っている方々の希望にお応えできるよう、調整を進めていきたい。

その他の質問

○当初予算の概要についてなど



青井和樹 議員



食料自給率向上、耕作地増加のため、三豊市が独自に取り組む施策について

問 市長は令和7年第3回定例会にて食料自給率、耕作放棄地の問題について、国や県を待たずには時間ばかりがたつので、三豊市独自で取り組んでいかなければならない旨の答弁をされた。現時点での具体策の有無について伺う。

非農家が農業に関わっていくことが、困難な状況にある農業の現状を突破する鍵であると考え、多くの地で実現している地域支援型農業、これは農家と非農家を双方にメリットを生み出す新しい取り組みである。地域全体で農業を支え関連人口を増やす、地域支援型農業の導入を検討してはどうか。

答 国や県に対して規制緩和や予算の調達に向けての働きかけを積極的に行っている。耕作放棄地の再生支援については、県の補助制度を活用し、農業者負担の軽減を図り、市でも上乘せ補助を行い、農地の維持



その他の質問

○就学前教育保育の現場における子ども最善の利益の尊重について
○職員間のパワーハラスメント対策強化の具体的進捗について



眞鍋範子 議員



子育て・子育て支援について

問 「子どもまななか」のまちづくりの取組みとは。

答 子どもの最善の利益を第一に、地域全体で子どもと子育て家庭を支える取組みである。支援拠点の充実や居場所づくり、団体やボランティアとの連携を進めている。

問 地域ぐるみの支援の現状と今後は。

答 相談機関の充実やファミリーサポートセンター事業等を実施している。今後も地域と連携し、孤立しない支援体制の強化に取り組む。顔の見える関係づくりとして、知識を持ったボランティアが乳幼児健診に関わる仕組みづくりを提案する。

問 健康などの機会活用は有効である。一方で体制整備が必要であり、関係機関と連携し検討していく。提案の趣旨を踏まえ、連携強化と環境整備の推進を期待する。

学校にいけない・教室に入れない児童生徒への支援について

問 対策と校内支援の状況は。



大平国明 議員



新設豊中小学校について

問 通学路の整備状況で、通学路の危険箇所整備進捗状況と開校までの整備予定を伺う。

答 危険箇所42カ所のうち、開校までに11カ所、開校後3カ所整備を行い、検討は5カ所、整備困難が23カ所となる。今後、市HPに危険箇所の追記や進捗状況を掲載していきたい。

問 バス通学で、バス停を追加する意向や保護者が送迎をする際の乗降場所について伺う。

答 現時点で新たにバス停を設置する予定はないが、開校後の状況などを踏まえて検討する。

問 乗降場所については、体調不良やケガ等の場合は、学校までの送迎を可能とするが、それ以外ではできるだけ徒歩通学に協力していきたい。

答 旧小学校跡地の活用として、スボ少や地域交流、防災施設など行政利用での検討について伺う。
問 公共施設再配置特別委員会でご審査いただき、将来的な財政

答 多様な学びの場を確保し、サポートルームを全校に準備している。出席日数の増加など成果がある一方、体制整備が課題である。
問 未然防止と登校継続への支援は。
答 早期の気づきと相談体制の充実に取り組み、子どもに寄り添った支援を進めている。
問 こども家庭センターないとの連携は。
答 定期的な情報共有やケース会議を通じ、関係機関と連携し、支援を行っている。
問 子ども一人一人に寄り添う支援の充実と環境づくりを進め、すべての子どもたちが「大切にされている」と感じながら安心して成長できる三豊市となることを願う。



問 解散後の地域コミュニティの在り方、委譲業務の今後の方針、集落支援員制度、補助金申請の手続きについて伺う。

答 今回の制度見直しは、持続可能な地域への再構築で、集落支援員が地域の皆さまの伴走者となり、活動の継続発展に寄り添う。委譲業務は、市が責任をもって引き上げし、地域活動が停滞しないよう支援体制を確立させる。補助金申請も支援員がサポートの充実に万全を期し、全ての市民の皆さまの思いを支えてまいりたい。



▲豊中小学校イメージ図

原稿は質問者本人が書いています



田中達也 議員



誰一人取り残さない投票環境の整備と選挙事務のデジタル化で信頼回復を

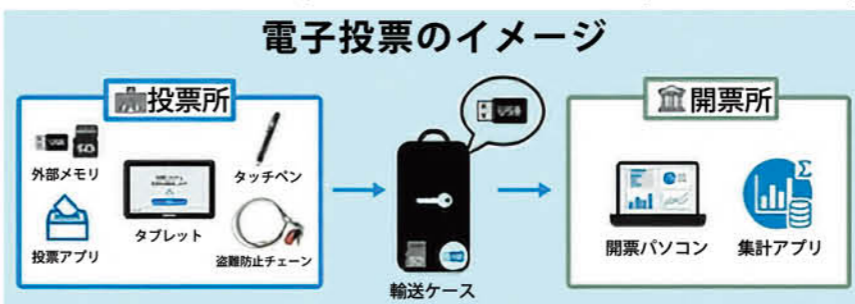
グループホームなどの指定外施設では、感染症対策による外出制限などで投票所へ行けず、投票権を行使できない市民がいる。憲法で保障された権利が施設の管理体制や規模に左右されるべきではない。実態把握とともに、移動投票所の導入など行政側から歩み寄る施策を求めようか。

不在者投票の指定を受けられない小規模施設は市内に17施設ある。移動期日前投票所の設置は特定の施設を対象とする運用には慎重な検討が必要だ。県選管と協議し、郵便等投票の対象者を施設入居者等へ拡大するよう、国に対し制度の拡充を強く要望していく。

近年の選挙事務におけるミスはアナログな手法の限界を露呈している。正確性の向上とパリアフリー化のため、タブレット端末を用いた電子投票の導入を検討すべき

だ。なお、最新のシステムはネットワークを介さないスタンドアロン方式であり、セキュリティ上の懸念は解消されている。4年後の市長・市議選での導入に向けたロードマップ作成と実証実験を早期に開始する決意はあるか。

電子投票は集計時間の短縮やミス防止に有効だが、導入経費やシステム障害、改ざん防止等の課題もある。他自治体の事例や費用対効果を十分に精査し、導入に向けたロードマップを作成する。実施を約束するものではないが、4年後の市長・市議選を目標に調査研究を進める。



研究を進める。



佐藤政司 議員



一人材育成から産業集積へについて

施政方針に、A一人材の育成があるが、育てた人材が地域に定着し、活躍する具体的戦略は示されていない。国は、地方の産業集積支援を強化し、戦略を描く方針だ。人材を育てるだけでなく、地域愛を持った人材の活躍できる産業の土台をどうつくるかが問われている。当市にある香川高専で高度な専門教育を受けた卒業生を地域に定着させるための産業集積を形成することは、地域愛を实践へと昇華させる政策だ。3点質問する。①産業集積を形成するビジョンは。②高専人材



▲ AI実践ブートキャンプで松尾研究室の講義を受ける学生たち

をA一人材育成によって、その中核に位置付ける考えは。③人材育成と産業政策を一体的に設計する考えは。

国の支援策強化が、今夏に示される予定だ。①現時点ではビジョンを定める段階にないが、高専人材やAI研究をリードする東大松尾研との連携があり、今後、産業集積の方向性は見えてくると考える。②A一人材を育成し、地域に定着させる仕組みは不可欠だ。取り組みの中核として進めていく。③三豊で育った若者が三豊で働くという将来像を描けるよう、人材育成と産業政策が一体的に機能する施策を展開する。

新設豊中小学校の通学の見守りについて

地域の交通安全と見守りは、複数の関係機関や部署に分かれている。現在の体制では対応が難しくなる。どのように改善対応するのか。

関係団体等の役割や活動内容の再検討が必要であり、登下校時の混雑の緩和や危険箇所の対策など、今後の体制について協議している。

その他の質問

舗装計画について



井出喜久美 議員



詫間駅前駐車場の整備について

駅前ロータリー出口付近については利用者の安全を確保し送迎者・バス双方が円滑に通行できるように一定の幅員を確保する必要があると考える。今後の駐車場整備やロータリーの在り方について問う。

当時の図面を見ても改良されることなく30年以上経過していると思われる。駐車スペースの幅員拡大や車椅子利用者用駐車場の確保など改めて検討すべき課題が分かった。利用者の利便性や安全性の確保は施設管理者の責務であるため具体的な検討を行っていく。



▲消えた道路標示 ▲邪魔になっている縁石 ▲縁石に擦った跡 ▲邪魔になっている縁石

障害者用駐車場の見直しについて

近年、後部スロープ式の福祉車両が増加し従来の障害者用駐車場では対応が難しいケースが現場から寄せられている。こうした実態について市の受け止めを問う。

後部スロープ式の福祉車両が来庁時、昇降が円滑にできるスペースを確保できるよう関係団体や利用者等の意見を聞きながら対応する。

空き家に残置された家財処分の課題

空き家の流通や活用、解体を進めるためにはまず家屋内に残された家財の撤出が必要だが、実際の現場は費用面などの問題から家財処分が進まず、利活用や解体に進めないケースが見受けられる。三豊市においても先進的な制度を取り入れることで空き家問題への支援策になると考えるが、市の考えを聞く。

空き家対策は重要な課題であると認識することから今後とも空き家の流通促進や適性管理に向けた取り組みを進めるとともに、他自治体の取り組みも参考にしつつ進めていく。



水本真奈美 議員



手話施策推進法の成立をうけて

本市の手話普及の取り組みを問う。

令和2年4月、「三豊市手話言語条例」及び「三豊市障がいのある人の情報保障及びコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」を施行し、①広報紙に手話コーナーを毎月掲載。②市内の希望する小学校で出張手話講座を開催し、昨年度は2校、今年度は3校で実施。③手話奉仕員養成講座入門編を約20名が受講し、計24回開催など、手話の普及、障害の特性に応じたコミュニケーション手段の普及啓発に努めている。

9月23日「手話の日普及イベント」の開催について問う。

現在、西讃ろうあ協会主催でイベントが観音寺市の西讃くろうセンターで開催されている。協会とも連携し、取り組みについて協議検討していく。

電話リレーサービスを活用した自治体の問い合わせ窓口向け

お知らせ 手話リンク

東大阪市のホームページより

その他の質問

放課後児童クラブについて

公共施設の照明LED化の取り組みについて

原稿は質問者本人が書いています



湯口 新 議員

市内中小公園の充実について
まずは要望の多い、もしくは近隣に子育て世帯が多く住むような公園からでも整備を進めていくべき。市内に、市民が喜び誇りに思える公園施設が、バランスよく存在する三豊市を目指すべきではないか。



3月に複合遊具の改修工事が完了したコスモランドみの

問 多くのまちづくり推進隊の解散によって、市民の市民による市民のための防災活動の動きが止まってしまうのではないかと。
答 地域防災力の向上には、自助、共助、公助の重層的な体制づくりが不可欠である。日常の啓発活動として家庭内備蓄や避難場所、経路の確認など個人の備えを促すほか、地域住民参加による避難訓練や避難場所運営訓練などを通じて、地域の協働体制を推進していきたい。また、自主防災組織の設立や運営に対する支援、防災リーダーの育成に注力し、自助、共助、公助の仕組みを根づかせることで防災力の向上を目指す。防災イベント開催団体との意見交換を実施するとともに、施設管理者や所管課と協議を行い、防災イベントの環境改善に向けた具体的な取り組みを進める。

その他の質問
観光の産業化について



篠原 一馬 議員

子育て応援サービス券支給事業について

問 子育てホームヘルプ事業、みとファミリー・サポート・センター事業および一時預かり事業の利用料を助成する目的で、対象児童一人当たり3万円相当(300円×100枚)の子育て応援サービス券を申請により支給している。利用しやすさを高めるため、どのような取り組みを検討しているのか伺う。
答 利用しやすくなるために、妊娠届出時をはじめ、妊娠8カ月相談、出生届出時、乳児訪問、乳幼児健診など、子育て家庭と直接関わる機会を捉え、制度の内容や利用方法について繰り返し案内を行っていく。

問 過去3年間の利用率は約3割にとどまり、一人あたりの平均利用額も約9千円と、十分に活用できていない現状である。このため、現行制度を維持しつつ、オムツやミルク等に使える1万円分の商品券を選択できる仕組みを導入することで、より利用しやすい制度となると考える。選択制導入について検討の余地はあるのか伺う。

子育て応援事業の選択肢(案)
子育て応援サービス券(3万円相当)
子育てホームヘルプ事業
みとファミリー・サポート・センター事業
一時預かり事業
商品券(1万円分)
おむつやミルク等を購入できる商品券

子育て応援事業の2つの選択肢を提案しました。

原稿は質問者本人が書いています

総務常任委員会

3月5日開催の総務常任委員会には、9議案が付託され、審査した。

主な質疑と答弁

令和7年度 三豊市一般会計補正予算(第8号)

地域未来交付金について

問 この交付金事業により、三豊市が想定する大規模災害時における備蓄品の充足率はどのようになるのか。またこの交付金の継続性は。
答 簡易ベッドとワンタッチパーティションについては県・市で備蓄目標が設定され、想定避難者数のうち、要配慮者については目標値をクリアする。そのほかについては、なるべく指定避難所に備蓄していく予定だが、施設管理者と協議をしながら進めていく。本交付金については今回限りとなっているが、今後も防災関係の大きい補助金を有効に活用していく。



ワンタッチパーティション

簡易ベッド



委員会の様子はこちらから

ふるさと三豊応援寄附金について

問 5億円の減額となった理由は何か。
答 昨年10月にポイント付与がなくなることから、駆け込み需要を見込んでいたが、そこまでの需要がなかったこと。また、昨年度、総務省の基準が厳格化され、本市においても寄附額の見直しを行ったことにより、「フルーツ定期便」など魅力ある商品の寄附額が2割ほど上がったことが原因ではないかと考えている。今後、できるだけ皆様に選んでいただける商品の選定や寄附金額の設定などを行い、15億円の目標を達成したい。

粟島開発総合センターへの粟島診療所・粟島汽船待合所の集約について

問 高齢化している島民の方々にとって和室は使いにくいのでは。声を聞いて整備を進めてほしい。
答 1階の和室については、机、イスを置けるような改修を考えている。今後、地元の方にも意見をお聞きする場を予定している。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

市民建設常任委員会

3月6日開催の市民建設常任委員会には、8議案が付託され、審査した。

主な質疑と答弁

令和7年度 三豊市一般会計補正予算(第8号)

物価高騰による増額補正に伴い、一般廃棄物処理業務委託契約の精算項目を3項目から9項目へ増やしているが、これは今後も精算項目とするのか。

問 物価高騰による増額補正に伴い、一般廃棄物処理業務委託契約の精算項目を3項目から9項目へ増やしているが、これは今後も精算項目とするのか。
答 今回の増額補正は赤字委託とならないための措置であり、今後も精算項目を9項目にすることで物価高騰の際に対応できるようにするものである。

令和7年度 三豊市国道用地先行取得事業特別会計補正予算(第3号)

問 国道11号線について、拡幅工事は現時点でのあたりまでを計画しているのか。
答 現在計画されているのは笠田小学校付近から観音寺方面への区間で、今後工事を行うのは豊中インターチェンジから笠田小学校付近の区間である。他の区間については、市として4車線化の要望を行っているのが現状である。



委員会の様子はこちらから

荘内浦島出張所の廃止について

問 出張所の廃止はやむを得ないと考えるが、利用者が自身で証明書を発行できるようにキオスク端末を置くことは検討しなかったのか。
答 キオスク端末の設置は検討を行ったが、費用対効果の面や無人の施設に高額な機器を置いておくことのリスク等を勘案し見送ることとなった。



地域交流館荘内の荘内浦島出張所が廃止になった。

松崎東団地一部解体に伴う管理条例改正について

問 松崎東団地は12戸のうち2戸のみ解体したとのことだが、跡地の管理は。
答 建築住宅課で管理し、全入居者が退去した場合は全て解体し、行政利用がなければ財産処分マニュアルに基づき管財課へ引き渡す。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

教育民生常任委員会

3月9日開催の教育民生常任委員会には、12議案が付託され、審議した。

主な質疑と答弁

令和7年度三豊市病院事業会計補正予算(第5号)

問 相当な改善が必要と考えるが、今後の経営体制について聞く。

答 現在、経営強化プランの修正案を策定中である。病床利用率の向上が最重要課題である。医師確保、救急患者の受入れ、他院との連携強化、訪問看護等の充実を図り、職員一丸となって改善に向け全力で取り組む。

三豊市乳児等通園支援事業(子ども誰でも通園制度)に関する条例の制定について

問 募集や面談のスケジュールについて、また保育士の確保と利用人数は最大で何人なのか。

答 公立保育所3施設・私立保育所1施設で4月1日からの実施に向けて保護者等へ適切に周知する。募集や面談は、順次実施する予定である。保育士は、必要な配置を確保している。利用人数は最大6人である。



委員会の様子は
こちらから

子ども誰でも通園制度	
事業概要	保護者の就労要件を問わず、保育所等に通っていない子どもが、成長・発達の機会を得るために利用できる制度
対象者	保育所等に通っていない生後6カ月から3歳未満の子ども
利用可能時間	月10時間まで
利用料金	1時間当り300円

三豊市公民館条例の一部改正について

問 公民館体制を変える理由は。高瀬町公民館長がいなくなる認識で良いのか。

答 旧町の単位に縛られない活動を行うことができるようになる。組織を一つにして、三豊市公民館長が専従し、三豊市公民館が高瀬町公民館の事業を引き継ぐ。

以上、各議案とも慎重な審議により、原案どおり可決した。

予算特別委員会

3月16日から24日にかけて予算特別委員会を開催し、令和8年度一般会計予算など計11議案の審査を行いました。

主な質疑と答弁

【病院会計】

問 今回も1億5千万円貸付けが必要である。令和9年には償還金が、3億900万円ほどで、ピークを迎えるが、今後も貸付けが常態化していくのか。

答 来年度、診療報酬の改定があり物価や賃金高騰への対応、また医療DXの推進、地域包括ケアの強化など取り組む。これからも経営基盤の強化と質の高い医療提供体制の維持向上に努め収益の増加につなげ、貸付けがなくても運転資金が回るように努力する。

【建設部】

問 JR高瀬駅について、市民にも開放して使っていく場所にするといった説明を受けているが、その予算が見当たらない。

答 待合スペースとして整備した部分については、公民館活動など発表の場と考えている。関係部所との協議の中で、広く利用いただけるような形を整えていく。令和8年度予算には計上していない。



▲ JR高瀬駅の待合室は展示スペースとしての利用も可能である。



委員会の様子は
こちらから

【政策部】

問 ふるさと三豊応援寄附事業について、「魅力ある返礼品の充実を図り、寄附者との継続的なつながりを持つ取り組みを進める」というのを毎年書いているが、具体的な取り組みとは。

答 中間管理事業者等と連携を図り、三豊市内の新たな返礼品提供事業者の開拓等を行っており、返礼品事業者を訪問し在庫の確認やさまざまな協議を行い、今後の寄附額の設定を進めている。

各委員会の閉会中の継続調査

各常任委員会で、閉会中も継続的に調査研修する必要があるもののテーマが決まりました。現状を把握し、問題を明らかにし、委員間で理解を深めながら、調査結果を施策に反映していきます。

【総務常任委員会】

- 交通政策全般
- ふるさと納税
- 先端技術



【教育民生常任委員会】

- 健康増進事業
- 教育現場等における先進的取り組み
- みとよ市民病院のあり方



総務

教育民生

市民建設

広報広聴

【市民建設常任委員会】

- デジタル技術を活用したフロントヤード改革
- 農業振興(農産物の出口戦略)
- 造船所跡地を含む利用困難地の有効活用



【広報広聴常任委員会】

- 議会広報
- 議会報告会
- その他議会の広報広聴



【総務部】

問 功労者表彰事業について、20周年記念事業に併せてどのような発想を秘書課当局は持ち、この企画をどのように組み立てたのか。

答 昨年8月に、稲沢朋華さんが日本で最大級のピアノコンテストでグランプリを取り、その表敬訪問を受けたことが一番のきっかけである。小学生のときに瀬戸フィルハーモニー交響楽団の公演を見られて、夢を抱き、それを実現したという話を聞いた。市制施行20周年記念事業を披露の場として選定した。

【教育委員会】

問 国際バカロレアについて、託間で認定に向けて取り組みが行われているが、本市の小学校、中学校を含めて、このバカロレアの教育のキャリアラム、探究学習等々についてどのようになり全体に広めていくのか。

答 学校の授業公開や研修等の託間以外の学校への拡大については積極的に進めていきたいと考えている。当初予算に計上していないが、今後の教員研修について検討している。

【市民環境部】

問 仁尾支所管理事業について、予算額2670万8千円は、支所で一番高くなっている。需用費や委託料で、ほかの支所と違う部分はどこで、なぜこの予算なのか。

答 仁尾支所は3千㎡を超える建物のためビル管理法が適用され、清掃等の費用が他の支所と比べて大きくなっている。また、建物が25年を経過し至るところで修繕費を要する。その他、樹木等の管理も合わせ、他の支所と比べて突出した金額となっている。

【総括質疑】

田中達也議員

○「生存戦略」としてのデジタルAI投資の検証と、持続可能な事務執行体制の構築について

込山文吉議員

○三豊市定員管理計画(8年度〜13年度)

湯口新議員

○公園の整備について来年度の公園遊具設置予算は全体でいくらか。○子育て支援拠点施設整備について

丸戸研二議員

○都市計画事業予算案の概要について



総括質疑の様子は
こちらから